

## 介護過程

問題 106 介護過程を展開する目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 業務効率を優先する。
- 2 医師と連携する。
- 3 ケアプランを作成する。
- 4 画一的な介護を実現する。
- 5 根拠のある介護を実践する。

問題 107 次のうち、介護過程を展開した結果を評価する項目として、最も優先す

べきものを1つ選びなさい。

- 1 実施に要した日数
- 2 情報収集に要した時間
- 3 評価に要した時間
- 4 介護福祉職チームの満足度
- 5 短期目標の達成度

問題 108 次の記述のうち、居宅サービス計画と訪問介護計画の関係として、最も

適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護計画を根拠に、居宅サービス計画を作成する。
- 2 居宅サービス計画の目標が変更されても、訪問介護計画は見直しをせず継続する。
- 3 居宅サービス計画と同じ内容を、訪問介護計画に転記する。
- 4 居宅サービス計画の方針に沿って、訪問介護計画を作成する。
- 5 訪問介護計画の終了後に、居宅サービス計画を作成する。

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた  
次の事例を読んで、問題 109、問題 110 について答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

さい じよせい ようかいご じたく むすめ く けいど にんちしょう  
Lさん(76歳，女性，要介護1)は，自宅で娘と暮らしている。軽度の認知症  
しんだん しんたいきのう もんだい ゆうじん がいしゅつ たの  
(dementia)と診断されたが，身体機能に問題はなく，友人との外出を楽しんでいる。  
ひ がいしょく あと じたくちか ほご い  
ある日，夕食の後，自宅近くで保護されたとき，「ここはどこなの」と言った。その  
ご じたく で しんばい むすめ ほんにん そうだん しょうきぼたきのう  
後，自宅から出ようとしなくなった。心配した娘が本人と相談して，小規模多機能  
がたきょたくかいご りよう  
型居宅介護を利用することになった。

りようかいしじ たんきもくひょう がいしゅつ たの せってい しゅうかん す  
利用開始時に，Lさんの短期目標を，「外出を楽しめる」と設定した。2週間が過ぎ  
ころ ちか か もの さんか もう で  
た頃，Lさんから，近くのスーパーへの買い物ツアーに参加したいと申し出があった。  
とうじつ ほか りようしゃ かいごふくししょく えがお か もの ようすみ か もの お  
当日，他の利用者や介護福祉職と笑顔で買い物をする様子が見られた。買い物が終  
ある もど はじ えがお き きゅう た ど  
わり，歩いて戻り始めると，笑顔が消え，急に立ち止まった。

かいごふくししょく こえ い ふあん い  
介護福祉職が声をかけると，「ここはどこなの。どこに行くの」と不安そうに言った。

もんだい きゅう た ど こうどう かいしゃく もっと てきせつ  
問題 109 Lさんが急に立ち止まった行動の解釈として、最も適切なものを1つ  
えら  
選びなさい。

- 1 買い物ツアー時間の延長の要求  
か もの じかん えんちょう ようきゅう
- 2 自分のいる場所がわからない不安  
じぶん ばしょ ふあん
- 3 休憩したいという訴え  
きゅうけい うった
- 4 店での介護福祉職の支援に対する不満  
みせ かいごふくしよく しえん たい ふまん
- 5 一人で帰りたいという訴え  
ひとり かえ うった

もんだい じょうきょう たんきもくひょう しえんないよう みなお  
問題 110 Lさんの状況から、短期目標と支援内容を見直すためのカンファレンス  
ひら  
(conference)が開かれた。

- たんどう かいごふくしよく ていあん もっと ゆうせん えら  
担当する介護福祉職の提案として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。
- 1 外出先から帰れなくなる不安への対応が必要である。  
がいしゅつぎき かえ ふあん たいおう ひつよう
  - 2 表情がかたくなったときは帰り道を変更する。  
ひょうじょう かえ みち へんこう
  - 3 外出する意欲を持つ必要がある。  
がいしゅつ いよく も ひつよう
  - 4 歩くために身体機能の改善が必要である。  
ある しんたいきのう かいぜん ひつよう
  - 5 事業所をなじみの生活空間にする。  
じぎょうしょ せいかつこうかん

つぎ じれい よ もんだい もんだい こた  
次の事例を読んで、問題 111、問題 112 について答えなさい。

じ れい  
〔事例〕

Mさん(35歳、男性、障害支援区分5)は、脳性麻痺(cerebral palsy)による四肢麻痺  
きんきんちよう にちじょうせいかつどうさ ぜんぱん かいご ひつよう でんどうくるま しょう  
で筋緊張がある。日常生活動作は全般に介護が必要であり、電動車いすを使用して  
ほんにん ははおや さい きぼう じたく ふたりぐ つづ  
いる。これまで、本人と母親(70歳)の希望で、自宅で二人暮らしを続けてきた。

Mさんは3年前から、重度訪問介護を利用している。軽度の知的障害があるが、自  
ねんまえ じゅうどほうもんかいご りよう けいど ちてきしょうがい じ  
分の意思を介護者と母親に伝えることができる。相談支援専門員が作成したサービス  
ぶん いし かいごしゃ ははおや つた そうだんしえんせんもんいん さくせい  
等利用計画の総合目標は、「やりたいことに挑戦し、生活を充実させる」となって  
とうりようけいかく そうごうもくひょう ちょうせん せいかつ じゅうじつ  
いる。Mさん自身も、やりたいことを見つげたいと介護福祉職に話していたことから、  
つぎ こべつしえんかいぎ けんとう よてい  
次の個別支援会議で検討する予定になっていた。

ひ じゅうどほうもんかいご りようじ ちゅうけい み  
ある日、重度訪問介護の利用時、パラリンピックのテレビ中継を見ていたMさん  
かいごふくしよく な はな  
が、介護福祉職に、「ボール投げるの、おもしろそう」と話した。

もんだい つぎ はつげん こべつしえんけいかく りつあん かいごふくし  
問題 111 次のうち、Mさんの発言から、個別支援計画を立案するために、介護福祉  
しよく はあく じょうほう もっと ゆうせん えら  
職が把握すべき情報として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 競技で使われるボールの種類  
きょうぎ つか しゆるい
- 2 話を聞いた介護福祉職の感想  
はなし き かいごふくししよく かんそう
- 3 競技に対するMさんの意向  
きょうぎ たい いこう
- 4 母親のパラリンピックへの関心  
ははおや かんしん
- 5 テレビ中継を見ていた時間  
ちゅうけい み じかん

もんだい けんがくご かいごふくししよく  
問題 112 いくつかのスポーツクラブを見学後、介護福祉職はMさんから、「このス  
ちか にゅうかいまえ たいけん つた  
ポーツクラブが近いから、入会前に体験したい」と伝えられた。  
かいごふくししよく たいおう かん つぎ きじゆつ もっと てきせつ  
Mさんへの介護福祉職の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ  
えら  
選びなさい。

- 1 筋緊張から回復する訓練を行うように伝える。  
きんきんちよう かいふく くんれん おこな つた
- 2 母親が決めたスポーツクラブを選ぶように勧める。  
ははおや き えら すす
- 3 スポーツクラブにすぐに入会するように勧める。  
にゅうかい すす
- 4 意思決定に必要な情報を提供する。  
いしけつてい ひつよう じょうほう ていきよう
- 5 相談支援専門員の許可を得るように勧める。  
そうだんしえんせんもんいん きよか え すす

もんだい かいごふくししよく じれいけんきゆう おこな もくてき もっと てきせつ えら  
問題 113 介護福祉職が事例研究を行う目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事業所の介護の理念の確認  
じぎょうしょ かいご りねん かくにん
- 2 介護福祉職の能力を調べること  
かいごふくししよく のうりよく しら
- 3 介護過程から介護実践を振り返ること  
かいごかてい かいごじっせん ふ かえ
- 4 介護報酬の獲得  
かいごほうしゆう かくとく
- 5 介護福祉職自身の満足度の充足  
かいごふくししよくじしん まんぞくとく じゅうそく